

大会スケジュール/ Schedule

11月22日(木) 公開シンポジウム・代議員総会・理事会		会場
13:30-16:30	公開シンポジウム Public Symposium	沖縄県青年会館 2階大ホール Okinawa Seinen Kaikan (2F main hall)
17:00-	代議員総会・理事会 Committee Meetings	沖縄県青年会館 1階珊瑚の間 Okinawa Seinen Kaikan (1F meeting room)

11月23日(金) 大会1日目		会場
8:30-	受付開始 Reception open	理系複合棟 1階ホール 1F Hall
9:00-11:45	口頭発表 ① Oral presentation ①	理系複合棟 102教室 Room 102
	口頭発表 ② Oral presentation ②	理系複合棟 202教室 Room 202
11:45-13:00	休憩 Break	
13:00-14:00	法人化した学会運営に関する意見交換会 General members meeting	理系複合棟 102教室 Room 102
14:15-14:45	川口奨励賞授賞式・授賞講演 Kawaguchi Award Ceremony	理系複合棟 102教室 Room 102
15:00-16:00	口頭発表 ③ Oral presentation ③	理系複合棟 102教室 Room 102
	口頭発表 ④ Oral presentation ④	理系複合棟 202教室 Room 202
16:15-17:45	ポスター発表 A (奇数) Poster presentation A: Odd numbers	理系複合棟 1階ホール 1F Hall
18:00-20:00	自由集会 ① Themed meeting ①	理系複合棟 102教室 Room 102
	自由集会 ② Themed meeting ②	理系複合棟 202教室 Room 202
	自由集会 ③ Themed meeting ③	理系複合棟 207教室 Room 207
	自由集会 ④ Themed meeting ④	理系複合棟 609教室 Room 609
	自由集会 ⑤ Themed meeting ⑤	理系複合棟 614教室 Room 614

11月24日(土) 大会2日目		会場
8:30-	受付開始 Reception open	理系複合棟 1階ホール 1F Hall
9:00-11:15	口頭発表 ⑤ Oral presentation ⑤	理系複合棟 102教室 Room 102
	口頭発表 ⑥ Oral presentation ⑥	理系複合棟 202教室 Room 202

11:15-13:00	休憩 (Break)	
13:00-14:30	テーマセッション ① Theme session ①	理系複合棟 102 教室 Room 102
14:30-16:00	英語セッション English session: Oral presentation	理系複合棟 102 教室 Room 102
16:15-17:45	ポスター発表 B (偶数) Poster presentation B: Even numbers	理系複合棟 1 階ホール 1F Hall
18:00-20:00	懇親会 Banquet	琉球大学中央生協食堂 Univ Ryukyus Coop Central Canteen

11月25日(日) 大会3日目(最終日)		会場
8:30-	受付開始 Reception open	理系複合棟 1 階ホール 1F Hall
9:00-10:30	テーマセッション ② Theme session ②	理系複合棟 102 教室 Room 102
10:30-11:30	小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表 & サンゴ礁保全活動ポスター発表 Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school students / Reef Conservation groups	理系複合棟 1 階ホール 1F Hall

発表について / Presentation guidelines

口頭発表 / Oral presentation

- 会場は理系複合棟 102 教室および 202 教室の 2 会場に別れています。発表時間と会場は以下のプログラムをご確認ください。
- 講演時間は 15 分（発表 12 分+ 質疑応答 3 分）です。
- 発表機材は液晶プロジェクターを用意します。パソコンは Windows と Mac を用意します。
- 発表前の休み時間までに発表ファイルを会場のパソコンにコピーし、動作確認をしておいて下さい。
- 各自のパソコンを使用することも可能ですが、事前に接続の確認をしておいて下さい。
- 若手優秀口頭発表賞へエントリーされている発表には発表番号の横に「*」が付いています。
- There are two venues for oral presentation, where one is on Science Collaboration Building Room 102 and another is on Science Collaboration Building Room 202. Please check your presentation venue and date & time by following Oral presentation program.
- For oral presentations, 15 minutes are allotted, including 12 min presentation and 3 min discussion.
- A laptop Windows PC, Mac PC, and a digital projector will be supplied for oral presentations.
- Please copy your presentation file to the laptop PC until before starting your session, and check whether your presentation is correctly displayed.
- You can use your own laptop PC, but please check that your PC can connect without problem beforehand.
- The presentation which is entered in 'Young Oral Presentation Award' is marked with (*) beside the presentation number.

ポスター発表 / Poster presentation

- 会場は理系複合棟 1 階ホールです。11/23 と 11/24 の 2 回に分けて行います。（「サンゴ確保全活動 & 小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表」は 11/25 の 10:30-11:30 に行います。）発表日は以下のプログラムをご確認ください。
- 11/23 と 11/24 のポスターセッションはそれぞれ 16:15-17:45 に行いますが、掲示時間帯は発表当日の 8:30~18:00 となります。継続して掲示し続けることはできませんので、各掲示時間帯終了後に撤去をお願いします。
- 若手優秀ポスター発表賞へエントリーされている発表には発表番号に「*」が付いています。
- Poster presentation is held on the 1st floor Hall of Science Collaboration Building. Please check your presentation date by following poster presentation program.
- Poster presenter is only allowed to mount your poster between 8:30 and 18:00 on the presentation date, although your core time is from 16:15-17:45. Please remove your poster by this day's 18:00.
- The presentation which is entered in 'Young Poster Presentation Award' is marked with (*) beside the presentation number.

口頭発表プログラム/ Oral Presentation

11月23日(金) / 23th November (Fri)

口頭発表 ① 9:00-11:45 / Oral presentation ① 9:00-11:45

【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102

座長 (Chair) : 鈴木 倫太郎, 佐藤 崇範

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-1	9:00-9:15	研究者資料の保存・整理と活用の意義：琉球大学風樹館所蔵「川口四郎関係資料(仮)」を中心に	○佐藤 崇範 (琉球大・島嶼地域科学研)
O-2	9:15-9:30	ソロモン諸島マライタ島における人間-サンゴ礁複合系に関する文化人類学的報告	○里見 龍樹 (早稲田大・人科)
O-3	9:30-9:45	サンゴ礁と文化	○齊藤 久美子 (和歌山大・経済)
O-4	9:45-10:00	グリーン AI アカデミー (GAIA) Green AI for Assessing Coral Reef Resilience	○猪澤 也寸志 (エコガイドカフェ)
O-5	10:00-10:15	里海創生によりサンゴ礁の生態系・資源を守る	○鹿熊 信一郎 (沖縄県海深研)
	休憩		
O-6	10:30-10:45	八重山地方におけるステークホルダー別の栄養塩類の推計とローカル環境認証による低減の可能性	宮本 善和 (中央開発)、○安東 正行 (日本生態系協会)、鈴木 倫太郎 (WWF ジャパン)
O-7	10:45-11:00	オニヒトデ浮遊幼生期の水質	○金城 孝一、糸洲 昌子、座間味 佳孝 (沖縄衛環研)、山川 英治、金井 恵 (沖環科)、岡地 賢 (コーラルクエスト)
O-8	11:00-11:15	地域・年による閾値の違いを考慮したサンゴ白化の推定	○熊谷 直喜、山野 博哉 (国立環境研・生物セ)
O-9	11:15-11:30	ISFET-pH センサーを用いたアルカリ度測定装置の開発および性能評価	○山本 将史、茅根 創(東大・理)、所 立樹(東大・理)、藤田 乃里(東大・理)、佐藤 縁(産総研)、栗原 晴子(琉大・理)、波利井 佐紀(琉大・熱生研)、辺見 彰秀(有限会社メビウス)、Andrew G Dickson(U.C.S.D、Scripps)
O-10	11:30-11:45	「海洋の温暖化・酸性化」問題への OPRI の取り組み, アウトリーチ活動	○中村 修子、角田 智彦、古川 恵太 (笹川平和財団 海洋政策研究所)

口頭発表 ② 9:00-11:30 / Oral presentation ② 9:00-11:30

【会場/ Location】 理系複合棟 202 教室/ Science Collaboration Building Room 202

座長 (Chair) : 中村 隆志, 山崎 敦子

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-11	9:00-9:15	琉球列島サンゴ礁堆積物の生産・運搬・堆積	○藤田 和彦、伊藤 真裕子、清島 璃乃 (琉球大)、宮入 陽介、横山 祐典 (東京大)、菅 浩伸 (九州大)
O-12*	9:15-9:30	石灰化生物量およびアルカリ度の変化に基づく炭酸塩地盤形成速度とその規定要因の推定：離島における低潮線保全	○棚谷 灯子 (港湾空港技術研究所)、所 立樹 (東京大学・港湾空港技術研究所)、山野 博哉 (国立環境研究所)、渡部 要一 (北海道大学)、桑江 朝比呂 (港湾空港技術研究所)
O-13	9:30-9:45	喜界島隆起サンゴ礁における完新世のサンゴ群集及び炭酸塩生産量の変遷	○山崎 敦子 (九州大・理)、小林 航、Kevin Garas、渡邊 剛 (北海道大・理)
O-14*	9:45-10:00	奄美群島産サンゴ骨格に記録された生息環境の攪乱と石灰化応答 ～土砂流出・津波イベント～	○伊藤 早織、矢野 恵美、渡邊 貴昭、山崎 敦子、渡邊 剛 (北大・理、喜界島サンゴ礁科学研究所)
O-15*	10:00-10:15	インドネシアジャワ島産の化石シャコガイに記録された後期中新世の気候	○駒越 太郎 (北大・理)、渡邊 剛 (北大・理)、白井 厚太郎 (東大・大気海洋研究所)、Hita Pandita (STTNAS)、栗原 行人 (三重大・教育)、加瀬 友喜 (科博)
	休憩		
O-16	10:30-10:45	高解像度マルチビーム測深を用いた久米島東部の堡礁および島棚の海底地形	○菅 浩伸 (九州大・地球社会)、藤田 和彦 (琉球大・理)、長谷川 均 (国土館大・文)、堀 信行 (首都大・理・名誉)、横山 祐典 (東京大・大気海洋研)、有安 恵美子 (アジア航測)、中島 洋典 (有明高専)、長尾 正之 (産総研)、Duce, S.J. (James Cook Univ.)、Vila-Concejo, A. (Univ. of Sydney)
O-17*	10:45-11:00	Speedy sea scanner を用いた久米島沿岸域における海底撮影調査とサンゴの被度分析手法について	○萩野 誠一郎、水野 勝紀、押味 良太 (東大院・新領域)、阪本 真吾 (株式会社ウィンドーネットワーク)、寺山 慧 (理研、京大・院医学研究科)、多部田 茂 (東大院・新領域)
O-18	11:00-11:15	リモートセンシング技術を用いたサンゴ礁把握手法	○片山 悦治郎、小松 俊晶、米澤 泰雄 (国際航業 (株))、完山 暢 ((一社)水産土木建設技術センター)、不動 雅之 (水産庁)
O-19	11:15-11:30	サンゴの生体内応答を基にした白化現象のモデル化と礁スケールへの拡張	○中村 隆志、灘岡 和夫 (東工大・環境・社会理工)、樋口 富彦、宮島 利宏 (東大・AORI)、山本 高大 (クエート科学研究所)、渡邊 敦 (海洋政策研究所)、Ariel C. BLANCO (Univ. of the Philippines Diliman)

法人化した学会運営に関する意見交換会 13:00-14:00 / General members meeting 13:00-14:00

【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102

川口奨励賞授賞式・授賞講演 14:15-14:45 / Kawaguti Prize award ceremony 14:15-14:45

【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102

口頭発表 ③ 15:00-16:00 / Oral presentation ③ 15:00-16:00**【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102**

座長 (Chair) : 竹内 一郎、中村 崇

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-20	15:00-15:15	石西礁湖でのミドリイシ属における大規模白化の影響	○中村 崇(琉大・理)、小島 香菜、Mariyam Shidha Afzal、石持 みずき、児玉 悠仁(琉大・理工)、徳田 侑大(琉大・理)
O-21	15:15-15:30	瀬底島におけるサンゴ白化：1998年と2016年の比較	○酒井 一彦(琉球大・熱生研)、Tanya Singh(琉球大・院理工)
O-22	15:30-15:45	高水温海域での白化耐性ウスエダミドリイシのモニタリング	○新宅 航平、毛塚 大輔、石森 博雄、横倉 厚(いであ(株))、萩原 一貫(沖縄環境調査(株))、金城 浩二((有)海の種)
O-23	15:45-16:00	イルガロール 1051 に曝露したウスエダミドリイシの体色及びクロロフィル遅延発光の長期変動	○竹内 一郎(愛媛大・院農)、高市 大輔(愛媛大・連院農)、勝又 政和(浜松ホトニクス・中央研)、石橋 弘志(愛媛大・院農)

口頭発表 ④ 15:00-16:00 / Oral presentation ④ 15:00-16:00**【会場/ Location】 理系複合棟 202 教室/ Science Collaboration Building Room 202**

座長 (Chair) : 鈴木 豪、高橋 俊一

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-24	15:00-15:15	サンゴの緑色蛍光による褐虫藻の誘引	相原 悠介(基生研)、丸山 真一朗(東北大・生命科学)、Andrew Baird(JCU)、井口 亮(産総研)、○高橋 俊一(基生研)、皆川 純(基生研)
O-25*	15:15-15:30	シャコガイ類の糞に含まれる褐虫藻に関する研究	○森島 慎也(広島大・院生物圏)、山内モモ(広島大・生物生産)、Quek ZhiQin Vanessa(National University of Singapore・Faculty of Science)、山下 洋(西海区水研・亜熱帯研究センター)、高津戸 啓介、小池 一彦(広島大・院生物圏)
O-26	15:30-15:45	ウスエダミドリイシによる褐虫藻獲得に関与する要因	○神保 充、竹内 亮太(北里大・海洋)、山下 洋、鈴木 豪(水産機構・西海水研)、天野 春菜、安元 剛、渡部 終五(北里大・海洋)
O-27	15:45-16:00	ミドリイシ属サンゴの縁辺個体群の産卵と冬季水温の関係について	○鈴木 豪(西水研・亜熱帯)、門田 立、八谷 光介、清本 節夫、吉村 拓(西水研・資源生産)

ポスター発表 A (奇数) 16:15-17:45 / Poster presentation A (Odd number) 16:15-17:45**【会場/ Location】 理系複合棟 1 階ホール/ Science Collaboration Building 1st Floor Hall**

自由集会 18:00-20:00 / Themed meeting 18:00-20:00

集会番号 No.	会場	集会題目 Title	企画者/ Organizer
自由集会 ①	理系複合棟 102 教室	喜界島サンゴロジー	山崎敦子
自由集会 ②	理系複合棟 202 教室	サンゴ礁保全学術委員会	主催：サンゴ礁保全学術委員会、 オーガナイザー：山野博哉
自由集会 ③	理系複合棟 207 教室	潜水調査における危険回避と安全管理	主催：日本サンゴ礁学会調査安全委員会 オーガナイザー：鈴木 倫太郎
自由集会 ④	理系複合棟 609 教室	教材「サンゴのテリトリーウォーズ」 を題材にしたサンゴ礁の教育教材研究 集会	中野義勝
自由集会 ⑤	理系複合棟 614 教室	蛍光撮影技術を生かした海洋生物イメ ージングとモニタリング-VI	古島靖夫、鈴木貞男、Sylvain Agostini、 山下 洋、丸山 正

11月24(土) / 24th November (Sat)

口頭発表 ⑤ 9:00-11:15 / Oral presentation ⑤ 9:00-11:15			
【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102			
座長 (Chair) : 藤井 琢磨, 山本 将史			
講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-28	9:00-9:15	Reef fish species composition and distribution in the Gulf of Thailand	○Felipe Mattos (Ramkhamhaeng Univ.), Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.)
O-29	9:15-9:30	琉球列島の海底洞窟における動物相と洞内における生態分布	○藤田 喜久 (沖縄県芸)、岡西 政典 (東京大)、水山 克 (琉大)、下村 通誉 (京都大)、伊勢 優史 (マレーシア科学大)、井口 亮 (産総研)
O-30	9:30-9:45	造礁性イシサンゴ類の分類の改変と問題点	○深見 裕伸 (宮崎大・農・海洋)
O-31*	9:45-10:00	日本産の旧ナガレハナサンゴ属の分子系統解析	○北野 裕子 (国環研・生物センター)、藤井 琢磨 (鹿大・島嶼研)、奥 裕太郎 (宮崎大・農)、野村 恵一 (串本サンゴ分類研究会)、立川 浩之 (千葉中央博・海博)、深見 裕伸 (宮崎大・農)
O-32*	10:00-10:15	日本国内における宝石サンゴの集団遺伝構造の解明	○高田 健司(宮崎大・農)、野中 正法(沖縄美ら島財団・総合研究セ)、岩瀬 文人(四国海と生き物研究室)、菊地 泰生(宮崎大・医)、陶山 佳久(東北大)、安田 仁奈(宮崎大・IT)
	休憩		
O-33*	10:30-10:45	奄美大島志戸勘海岸における有藻性サンゴ類被覆性海綿の被覆状況について	○藤井 琢磨 (鹿大・島嶼研)、熊谷 直喜 (国環研)
O-34	10:45-11:00	沖縄本島沿岸での炭酸系とサンゴの石灰化の季節変動と将来予測	○栗原 晴子 (琉大・理)、Judith Wouters (琉大・理)、安田 直子(琉大・理)
O-35	11:00-11:15	異なる複合環境下で見られるウスエダミドリイシの菌叢変化に及ぼすサンゴ種間関係及び海水流動の影響	○中野 義勝 (琉大・熱生研)、井手 圭吾 (早大)、伊藤 通浩 (琉大・熱生研)、山根 順子 (京大)、藤渕 航 (京大)、藤村 弘行 (琉大・理) 須田 彰一郎 (琉大・理)、竹山 春子 (早大)

口頭発表 ⑥ 9:00-11:15 / Oral presentation ⑥ 9:00-11:15			
【会場/ Location】 理系複合棟 202 教室/ Science Collaboration Building Room 202			
座長 (Chair) : 湯山 育子, 和田 直久			
講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)

O-36	9:00-9:15	サンゴ組織内における細菌集合体の分布	○和田 直久 (BRCAS)、石持 みずき (琉大院・理)、松井 妙子 (日大・生物資源)、Joseph F. Pollock (CDTNC)、Sen-Lin Tang (BRCAS)、Tracy D. Ainsworth (UNSW)、Bette L. Willis (JCU)、間野 伸宏 (日大・生物資源)、David G. Bourne (JCU)
O-37	9:15-9:30	オニヒトデから見つかった謎の共生菌について	和田 直久 (BRCAS)、湯浅 英知 (東工大・生命理工)、梶谷 嶺 (東工大・生命理工)、後藤 恭弘 (九大・医)、小椋 義俊 (九大・医)、吉村 大 (東工大・生命理工)、豊田 敦 (遺伝研)、Sen-Lin TANG (BRCAS)、東村 幸浩 (宮崎大・農学)、Hugh SWEATMAN (AIMS)、Zac FORSMAN (HIMB)、Omri BRONSTEIN (Natural History Museum Vienna)、Gal EYAL (Tel Aviv 大学)、Naline THONGTHAM (PMBC)、林 哲也 (九大・医)、伊藤 武彦 (東工大・生命理工)、○安田 仁奈 (宮崎大・IT)
O-38	9:30-9:45	サンゴ礁域における食物網の推定	○伊藤 靖 (一財) 漁港漁場漁村総合研究所)、柴田 早苗 (株) 不動テトラ)、當舎 親典 (一財) 漁港漁場漁村総合研究所)、完山 暢 (一社) 水産土木建設技術センター)
O-39*	9:45-10:00	全ゲノムトランスクリプトーム解析による自然環境中のサンゴ-褐虫藻共生メカニズムの解明の試み	○善岡 祐輝 (東大・大海研)、山下 洋 (水産機構西海水研)、座安 佑奈 (OIST・MGU)、神田 美幸 (OIST・SQC)、將口 栄一、佐藤 矩行 (OIST・MGU)、鈴木 豪 (水産機構西海水研)、新里 宙也 (東大・大海研)
O-40	10:00-10:15	有性生殖によるサンゴ増殖技術の開発	○山本 秀一、田村 圭一、高尾 敏幸、岡田 亘 (株) エコー)、完山 暢 (一社) 水産土木建設技術センター)、不動 雅之 (水産庁)
	休憩		
O-41	10:30-10:45	遺伝子発現から明らかにするサンゴと褐虫藻の白化時の変化	○湯山 育子 (筑波大・生命環境系)
O-42	10:45-11:00	塊状ハマサンゴ群体上に見られる円形陥没部とオヤビッチャによる産卵床としての利用	○山城 秀之 (琉球大・熱生研・瀬底)、竹内 一郎 (愛媛大・院農)、桑村 哲生 (中京大・国際教養)
O-43*	11:00-11:15	Combined effect of high temperature and pCO ₂ on <i>Acropora digitifera</i> and <i>Montipora digitata</i>	○Cristiana Manullang (Faculty of Science, University of Ryukyus)、Kazuhiko Sakai (TBRC, University of Ryukyus)

テーマセッション ① 13:00-14:30 / Theme session ① 13:00-14:30

琉球大学 ORCHIDS プロジェクトにおける海洋科学研究の取組み: Marine science researches of ORCHIDS project

【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102			
企画者 (Organizer) : JD. Reimer、新城 竜一、中村 衛、田中 厚子、中村 崇			
講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
趣旨説明	13:00-13:05		
T-1	13:05-13:20	Microenvironmental variation and importance for Symbiodiniaceae	Hin Boo Wee (琉大・院理工)、小林 ゆい (琉大・理学部)、栗原 晴子 (琉大・院理工)、○James D. REIMER (琉大・院理工)
T-2	13:20-13:35	ホウ素同位体比：海洋 pH 復元と海底熱水鉱床への応用	○新城 竜一、土岐 知弘 (琉球大・理)、浅海 竜司 (東北大・院)
T-3	13:35-13:50	海洋域の自然災害科学に関する研究基盤拠点形成 —ORCHIDS 海洋域自然災害部門—	○中村 衛、山田 広幸、松本 剛、伊藤 耕介 (琉球大・理)
T-4	13:50-14:05	オキナワモズク養殖技術向上を目指した産学連携の取り組み	○田中 厚子 (琉大・理)、小西 照子 (琉大・農)、伊藤 通浩 (琉大・熱生研)、Gregory N. Nishihara (長崎大・海洋未来)、林 顯尚 (知念漁協)、仲宗根 哲也 (本部漁協)、沼田 雄一郎、佐藤 陽一 (理研食品)
総合討論	14:05-14:30		

英語セッション 14:30-16:00 / English Session 14:30-16:00			
【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102			
座長 (Chair) : Sylvain Agostini, Maria E. A. SANTOS			
講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-E1*	14:30-14:45	Symbiotic interactions in the sea	○Maria E. A. SANTOS (University of the Ryukyus)、David M. BAKER、Inga CONTI-JERPE (The University of Hong Kong)、James D. REIMER (University of the Ryukyus)
O-E2*	14:45-15:00	Artificial barriers and their effects on coral reefs: the case study of the Ogimi seawall in Okinawa Island	○Giovanni Diego Masucci (MISE Lab、University of the Ryukyus)、Alessandro Acierno (Mise Lab、University of the Ryukyus)、James Davis Reimer (Mise Lab、University of the Ryukyus)
O-E3	15:00-15:15	Is mitochondrial activity a factor for resistance to ocean acidification in corals?	○Sylvain Agostini (筑波大・下田)、Ben Harvey (筑波大・下田)、Risa Takimoto (ICU・筑波大)、Joshua Heitzman (筑波大・下田)、Fanny Houlbreque (IRD、New Caledonia)、Riccardo Rodolpho-Metalpa (IRD、New Caledonia)

O-E4*	15:15-15:30	Effect of moderate thermal stress on stress sensitive reef corals	○Singh Tanya、 Sakai Kazuhiko (University of the Ryukyus)
O-E5*	15:30-15:45	Location and timing: Symbiodiniaceae diversity in <i>Palythoa tuberculosa</i> at the mouth of Hija River, Okinawa during the 2016-2017 bleaching event	○Wee Hin Boo、 James Davis Reimer (University of the Ryukyus)
O-E6*	15:45-16:00	Effect of quantitative changes in symbiont clades on survival of different coral life stages under thermal stress	○Zongyan Shi (Univ. Ryukyus)、 Héloïse Rouzé (CRIOBE-CNRS)、 Makiko Yorifuji (Univ. Ryukyus & FIDC)、 Frederic Sinniger (Univ. Ryukyus)、 Takashi Nakamura (Univ. Ryukyus) 、 Saki Harii (Univ. Ryukyus)

ポスター発表 B (偶数) 16:15-17:45 /Poster presentation A (Odd number) 16:15-17:45

【会場/ Location】 理系複合棟 1 階ホール/ Science Collaboration Building 1st Floor Hall

懇親会 18:00-20:00 / Banquet 18:00-20:00

【会場/ Location】 琉球大学中央生協食堂 / Univ Ryukyus Coop Central Canteen

11月25(日) / 25th November (Sun)

テーマセッション ② 09:00-10:30 / Theme session ② 09:00-10:30

地域社会とサンゴ・サンゴ礁をつなぐ研究者の役割：その可能性と課題

【会場/ Location】 理系複合棟 102 教室/ Science Collaboration Building Room 102

企画者 (Organizer) : 佐藤 崇範

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
趣旨説明	9:00-9:05		
T-5	9:05-9:20	サンゴ礁保全をめぐる地域住民・地域社会と共有すべきことは？	○中井 達郎 (国士館大学)
T-6	9:20-9:35	国立公園としてのサンゴ礁保全と観光の現状とこれから	○谷口 洋基 (さんごゆんたく館)
T-7	9:35-9:50	喜界島サンゴ礁科学研究所 - フィールドに根ざしたサンゴ礁研究拠点形成と次世代リーダーの育成 -	○渡邊 剛、山崎 敦子、駒越 太郎、伊藤 早織 (喜界島サンゴ礁科学研究所)
T-8	9:50-10:05	地域の人と自然をつなぐフィールドサイエンスへの興味と挑戦	○中地 シュウ (黒潮生物研)
総合討論	10:05-10:30		

小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表 10:30-11:30 / Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school student 10:30-11:30

【会場/ Location】 理系複合棟 1 階ホール/ Science Collaboration Building 1st Floor Hall

サンゴ礁保全活動ポスター発表 10:30-11:30 / Poster presentation by Reef Conservation groups 10:30-11:30

【会場/ Location】 理系複合棟 1 階ホール/ Science Collaboration Building 1st Floor Hall

ポスター発表プログラム/ Poster Presentation

ポスター番号が奇数の発表は 11 月 23 日 (金) 16:15-17:45, 偶数の発表は 11 月 24 日 (土) 16:15-17:45 です。若手優秀ポスター発表賞へエントリーされている発表には「*」が付いています。

ポスターボードの都合上, ポスターは張り替え制です。発表日当日の 8:30 から 18:00 まで (25 日は 12:00 まで) 掲示出来ます。お手数ですが, 発表後に回収をお願いします。

番号 No.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P-1	屋外水槽で飼育されたホソエダハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora acuta</i> の繁殖特性	○中島 祐一、Po-Shun Chuang、上田 延朗、御手洗 哲司 (OIST)
P-2	恩納村地先におけるサンゴの生息環境評価と移植適地の検討	○阿部 博哉、山野 博哉 (国環研)
P-3*	エダミドリイシとヒメエダミドリイシの染色体比較解析	○田口 尚弘 (高知大・黒潮圏)、目崎 拓真 (黒潮生物研)、奥村 正俊 (海自博マリンジャム)、久保田 賢 (高知大・黒潮圏)
P-4*	水面浮体型ドローンによるサンゴ群集のモニタリング	○山木 克則、板川 暢、秋山 完幸 (鹿島建設株)
P-5	トゲスギミドリイシの繁殖における白化の影響	○磯村 尚子、仲田 鈴、上江洲 慶多 (沖縄高専・生物資源)、具志 美香子 (愛媛大・院農)
P-6*	チリメンハナヤサイサンゴ (<i>Pocillopora meandrina</i>) における色彩型分布とストレス応答	○児玉 悠仁 (琉球大・理工)、中村 崇 (琉球大・理)
P-7	温帯性サンゴ・ヒメエダミドリイシ (<i>Acropora pruinosa</i>) の骨格成長の周年変化と低水温による白化現象の影響	○広瀬 慎美子 (東海大・海洋)、足立 快 (東海大・海洋)、太田 琴子 (東海大・海洋)、山口 守 (お茶大・湾岸生物教育研究センター)、清本 正人 (お茶大・湾岸生物教育研究センター)
P-8	那覇空港滑走路増設事業において波の上緑地に移植したショウガサンゴの生残及び白化状況について	大城 直、田港 朝之、上地 杏奈 (内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 那覇空港新滑走路整備推進室)、○毛塚 大輔、池原 浩太、中西 喜栄 (いであ株式会社)、岡田 亘、山口 奈津美、岩村 俊平 (株式会社エコー)
P-9*	コユビミドリイシにおける産卵への光量影響について	○石持 みずき (琉球大・院理工)、中村 崇 (琉球大・理)
P-10	瀬底島周辺サンゴ礁海域における水環境	○藤村 弘行、五十嵐 雅明 (琉球大・理)、中野 義勝 (琉球大・熱性研)、須田 彰一郎 (琉球大・理)、伊藤 通浩 (琉球大・熱性研)、竹山 春子 (早稲田大・先進理工)
P-11*	分子系統学的手法を用いたルリサンゴ属サンゴの所属科の再検討	○奥 裕太郎 (宮崎大・農工)、深見 裕伸 (宮崎大・農)
P-12*	フタマタハマサンゴの生理限界水温での海洋酸性化による生理的応答	○瀧本 理彩 (ICU; 筑波大・下田)、アゴスティーニ シルバン (筑波大・下田)
P-13*	パリカメノコキクメイシ <i>Coelastrea aspera</i> (Verrill, 1866) の隠蔽種の存在	○満木 雄大 (宮大・農)、磯村 尚子 (沖縄高専)、深見 裕伸 (宮大・農)
P-14*	日本産ヒラニオウミドリイシの分子系統解析	○田中 はな (宮崎大・農)、中島 遥奈 (宮崎大・農)、野村 恵一 (串本海中公園)、深見 裕伸 (宮崎大・農)
P-15*	日本におけるトゲキクメイシ属 <i>Cyphastrea</i> の系統と分類	○秋元 龍哉、深見 裕伸 (宮大・農)

P-16	沖縄県瀬底島の南端地先海域における有藻性イシサンゴ類の産卵パターンと生殖様式	○目崎 拓真(黒生研)、磯村 尚子(沖縄高専)、戸篠 祥(琉大)、林 徹(マリンジャム)、具志美香子(愛媛大)、深見 裕伸(宮崎大)
P-17*	サンゴ病原菌に対して抗菌活性を示す生理活性物質の単離・同定	○岡田 圭以子、三浦 夏子(阪府大院・生命環境)、元根 啓佑(京大院・農、日本学術振興会特別研究員)、北村 瑠璃子(阪府大・生命環境)、植田 充美(京大院・農)、片岡 道彦(阪府大院・生命環境)
P-18*	Recurrent disease outbreak in a high latitude marginal coral community	○Joshua M. Heitzman(筑波大・下田)、Agostini Sylvain(筑波大・下田)
P-19	オキナワキッカサンゴの探索	○上野 光弘(石西礁湖サンゴ礁調査)
P-20	「コーラルネット」を活用した慶良間諸島国立公園海域におけるサンゴの増殖	○宮城 清(座間味ダイビング協会)、吉村 強(あか・げるまダイビング協会)、比嘉 勝太(座間味漁業協同組合)、山木 克則(鹿島建設(株)技術研究所)、中野 裕治(ダイプラ(株))、中村 良太(水産土木建設技術センター)
P-21*	ウスエダミドリイシとドーンミドリイシにおける野外での受精選択について	○北之坊 誠也(琉大・熱生研)、戸篠 祥(琉大・熱生研)、守田 昌哉(琉大・熱生研)
P-22*	ミドリイシ属サンゴにおける配偶子形成と産卵に関するホルモンおよび神経伝達物質関連遺伝子群の発現動態	○與儀 泰一郎、磯村 尚子(沖縄高専・生物資源)、具志美香子(愛媛大・院農)
P-23*	分布北限域のサンゴ群集とガンガゼ類の関係性の変化	○河内 晃人、長岡 大輝、倉地 伊吹、吉川 尚、中村 雅子(東海大・海洋・水産)、中島 匠(東海大・教養センター)、松永 育之(東海アクアノーツ)
P-24*	和歌山県南部沿岸域亜潮間帯におけるサンゴ群集の帯状分布	○石塚 直人、ジン・タナンゴナン(近畿大学大学院農学研究科)
P-25	Effect of Shading on Cyanobacteriosponge, <i>Terpios hoshinota</i>	○Siti N. Aini、Hideyuki Yamashiro (Sesoko Station、Tropical Biosphere Research Center、University of the Ryukyus)
P-26	サンゴ幼生の蛍光と褐虫藻の走光性は両者の初期共生成立に關与するか？	○山下 洋、鈴木 豪(水産機構西海水研)、新里 宙也(東大大気海洋研)、神保 充(北里大海洋)、小池 一彦(広大院生物圏科)
P-27*	無腸動物ワミノア属とその近縁群における分子系統学的研究	○国広 潮里(琉球大・理工)、James D. REIMER(琉球大・理)
P-28	Management of coral reef fisheries in Thailand	○Wichin Suebpala、Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.)
P-29	発表キャンセル	
P-30	沖縄県産海綿の新規 endoperoxide 化合物	○平出 裕美、田中 淳一(琉大・院理工)
P-31	Ecotourism development for underwater pinnacles in Mu Ko Chumphon, the Western Gulf of Thailand	○Thamasak Yeemin、Makamas Sutthacheep、Sittiporn Pengsakun、Wanlaya Klinthong (Ramkhamhaeng Univ.)

P-32	Coral recruitment and self-seeding in Mu Ko Chumphon National Park, the Gulf of Thailand	○Makamas Sutthacheep、Thamasak Yeemin、Sittiporn Pengsaku、Juthamart Putthayakool、Charernmee Chamchoy (Ramkhamhaeng Univ.)
P-33	環境省レッドリスト (2017) に掲載されたサンゴ 2 種の生息環境	○今泉 久祥 (株式会社エコー)、源平 慶 (株式会社エコー)、高橋 由浩 (株式会社エコー)、上原 睦男 (株式会社沖縄環境保全研究所)、吉本 昌弘 (株式会社沖縄環境保全研究所)
P-34	Microplastics in the scleractinian corals from Mu Ko Sichang	○Charernmee Chamchoy、Makamas Sutthacheep、Thamasak Yeemin、Siriluck Rongprakhon、Orathep Muesare、Parichat Niyomthai (Ramkhamhaeng Univ.)
P-35*	オキナワハマサンゴの物理的損傷及び食害からの回復過程	○山口 奈津美、川崎 貴之、吉川 泰広 ((株) エコー)
P-36*	Investigating juvenile corals on shallow reef flats in Mu Ko Anghong, the Gulf of Thailand	○Wanlaya Klinthong、Makamas Sutthacheep、Thamasak Yeemin (Ramkhamhaeng Univ.)
P-37	Recruitment of polychaetes (Serpulidae) on the settlement panel experiments from coral reefs in Mu Ko Samed, the Eastern Gulf of Thailand	○Laongdow Jungrak、Thamasak Yeemin、Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.)
P-38*	西表島網取湾における 2016 年大規模白化後のサンゴ群集の変化と現状	國島 綾乃 (東海大・生物)、黒澤 華織、○翁長 洸蔵、大野 和人、福島 彰人 (東海大・海洋)、村上 智一 (防災科学技術研)、中村 雅子 (東海大・海洋)、河野 裕美 (東海大・沖縄地域)
P-39	Coral communities on the shallow reef flat at Ko Mattra, the Western of Gulf of Thailand	○Sittiporn Pengsakun、Thamasak Yeemin、Makamas Sutthacheep (Ramkhamhaeng Univ.)
P-40*	Black Band Disease around Sesoko Island, Okinawa, Japan	○Rocktim Ramen Das、Hideyuki Yamashiro (University of the Ryukyus)
P-41	海産生物における D-アミノ酸酸化酵素活性	○黒田 晃二郎、山崎 秀雄 (琉球大・理)
P-42*	生活史形質の異なるサンゴ系統間での糖質加水分解酵素の網羅的比較	○宮城 愛夏、田邊 俊朗 (沖縄高専)、井口 亮 (産総研・地質情報)
P-43	選択的な細胞毒性を示す海洋天然物の探索	○星野 勇那、田中 淳一 (琉大・理工)
P-44*	インド-太平洋のオニヒトデから見つかった未知の菌のゲノム解析	○湯淺 英知 (東工大・生命)、梶谷 嶺 (東工大・生命)、後藤 恭宏 (九大・医)、和田直久 (BRCAS)、吉村 大 (東工大・生命)、小椋 義俊 (九大・医)、林 哲也 (九大・医)、安田 仁奈 (宮大・IT)、伊藤 武彦 (東工大・生命)
P-45*	慶佐次川河口域の堆積速度と化学成分の経年変化	○棚原 朗、謝花 芽 (琉球大・理)
P-46	琉球列島沿岸におけるオニヒトデからの微量汚染物質の検出	○田代 豊 (名桜大・国際)
P-47*	多波長励起による簡便な生物判別のための蛍光撮影装置の開発	○鈴木 貞男 (O.R.E.)、古島 靖夫 (JAMSTEC)、丸山 正 (北里大)、山下 洋 (水産機構西海水研)、Sylvain Agostini (筑波大・下田)

P-48*	核 DNA 多型解析による太平洋産ハマダイの集団解析	○角 拓人(琉球大院理工)、秋田 雄一・紫波 俊介(沖縄水海技セ)、上原 匡人・太田 格(沖縄県水産課)、甲斐 哲也(沖縄深層水研)、田中 秀幸(バイオインダストリージャパン)、Brian Bowen (Hawai univ.)、今井 秀行(琉球大理)
P-49*	オキナワモズク共存細菌叢解析法の構築	○宇江城 蘭(琉大・理)、伊藤 通浩、新里 尚也(琉大・熱生研)、田中 厚子(琉大・理)
P-50*	山陰沖の日本海における無藻性イシサンゴの構成と分布	○同前 万由子(大阪市立大 理学研究科)、徳田 悠希(公立鳥取環境大)、江崎 洋一(大阪市立大)、千徳 明日香(琉球大)、鈴木 淳、池原 研、片山 肇、板木 拓也(産業技術総合研究所)
P-51*	四国南西海域におけるサンゴ幼生供給量の変動	○福崎 扶美、丸山 祐、中村 雅子(東海大・海洋)、佐野 聡(東海大・院)、目崎 拓真、中地 シュウ(黒潮生物研究所)
P-52	本州南岸に遺存的に生息する熱帯性種の遺伝的特徴 -干潟棲二枚貝類を例として-	○瀬尾 友樹、ジン・タナンゴナン(近畿大・院農)
P-53*	サンゴは高 CO ₂ に適応可能か? ~パラオ高 CO ₂ 海域のハナヤサイサンゴを事例に~	○栖原 有里、栗原 晴子(琉大・院理)
P-54*	サンゴにおいて褐虫藻を共生させられる種とさせられない種の違いは何か?	○谷中 綾子(総研大)、丸山 真一郎(東北大)、皆川 純(基生研)、高橋 俊一(基生研)
P-55	Discovery of annual sex change phenomenon in the stony coral <i>Euphyllia ancora</i>	○Pin-Hsuan Tsai (NTOU IMEE)、Shikina Shinya (NTOU IMEE)、Ching-Fong Chang (NTOU AQUA)
P-56	Fluorescent proteins in the gonads of a stony coral, <i>Euphyllia ancora</i>	○Yi-Ling Chiu (NTOU-DDPMB)、Shinya Shikina (NTOU-IMEE)、Ching-Fong Chang (NTOU-AQUA)
P-E1*	Genetic diversity and population structure of <i>Acetes sibogae</i> in the West Pacific region based on mitochondrial control region sequence	○Eko Hardianto(DDP、University of the Ryukyus、Diponegoro University)、Jun Fukuchi(Seto MBL、Kyoto University)、Diah Permata Wijayanti(Diponegoro University)、Yukio Hanamura (Tanabe、Wakayama)、Hideyuki Imai(University of the Ryukyus)
P-E2	Stolonifera of the north-western pacific: the Okinawan snowflake	○Yee Wah LAU、Frank R. STOKVIS、Yukimitsu IMAHARA、James D. REIMER
P-E3	Status of coral reef communities in Shimajiri bay, Kume Island	○Piera Biondi (University of the Ryukyus)、Giovanni Diego Masucci (University of the Ryukyus)、Eleonora Negro (Università Politecnica delle Marche)、James Davis Reimer (University of the Ryukyus)

小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表/ Poster presentations by Elementary, junior, and senior high school student

番号 No.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P-School1	光環境の変化に対するウミキノコの適応	○浦上 美夏海 (中大附属高・生物部、喜界島サンゴ礁科学研究所)
P-School2	喜界島ハワイビーチのサンゴの成長と環境	○山村 杏 (白馬村立白馬北小学校)、柚木 遼太郎 (喜界町立喜界小学校)、松木 奏多 (知名町立田皆小学校)、福嶋 悠 (喜界町立早町小学校)、林 哩央 (秋田大学教育文化学部附属中学校)、中川 玲菜 (清泉女学院中学校)、板井 慎太郎 (鹿児島県立喜界高等学校)、Kevin Garas、山崎 敦子 (北海道大学大学院理学研究院)
P-School3	喜界島に生息する魚類の生態学的研究	○田村 勇眸 (中央大学附属高等学校)、吉野 祥太 (鵬翔中)、玉利 彩葵 (喜界町立喜界小学校)、新里 海 (甲府市立千代田小)、吉 琉我 (喜界町立喜界小学校)、澄田 麻衣 (八王子市立宮上小学校)、鹿島 悠人 (成城学園初等学校)、白井 厚太郎 (東京大学・大気海洋研究所)、脇谷 量子郎 (中央大学研究開発機構)
P-School4	化学の目で見る喜界島	○谷川 大吾 (神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校)、宮崎 紗世 (喜界町立喜界中学校)、椎根 凜空 (渋谷教育学園幕張中学校)、外山 政樹 (知名町立住吉小学校)、松田 くらら (喜界町立喜界小学校)、杉保 克磨 (喜界町立早町小学校)、宿里 柁仁 (鹿児島市立西谷山小学校)、田中 健太郎 (東京大学・大気海洋研究所)、駒越 太郎 (北海道大・理院)
P-School5	ハワイビーチの生き物調査隊	永山 航輝 (神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校)、○今井 康聖 (喜界町立喜界中学校)、板倉 誠一郎 (喜界町立喜界小学校)、江口 胡夏 (多摩市立西落合小学校)、上釜 正嗣 (鹿児島市立伊敷台小学校)、橋本 昊 (板橋区立常盤台小学校)、上玉利 侑莉 (鹿児島市立東谷山小学校)、藤井 琢磨 (鹿大・島嶼研)
P-School6	サンゴの化石発掘隊	石坂 悠希 (中央大学附属高等学校)、○花田 理成 (志學館中等部)、釜 葉音 (知名町立田皆小学校)、杉保 駿 (喜界町立早町小学校)、向井 康道 (喜界町立早町小学校)、井口 優理 (杵築市立護江小学校)、矢野 健 (喜界町立喜界小学校)、佐々木 圭一 (金沢学院大・基礎教育機構)
P-School7	サンゴ礁にすむ無脊椎動物はどのように住む場所や環境を選んでいるか?	浦上 美夏海 (中央大学附属高等学校)、○勝野 瑛太 (昭和学院秀英中学校)、相良 和花 (喜界町立早町小学校)、渡邊 翔太郎 (札幌市立福住小学校)、吉野 良太郎 (宮崎市立七野小学校)、有村 遥希 (喜界町立喜界小学校)、安西 大地 (LCA 国際小学校)、Samuel Kahng (Hawaii Pacific university)、渡邊 貴昭 (北海道大学大学院理学研究院)
P-School8	ドローンによるサンゴの卵回収プロジェクト	○親富祖 元希、眞栄田 大和 (沖縄高専学生)、宮城 武蔵 (沖縄高専学生)、加古 暁海 (沖縄高専学生)

P-School9	高 pCO ₂ および富栄養環境における <i>Porites compressa</i> の成長応答と微細骨格構造の変化	○板井 慎太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所、喜界高校)、駒越 太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所、北海道大・院理)、山崎 敦子 (喜界島サンゴ礁科学研究所、九州大・院理) 渡邊 貴昭 (北海道大・院理)、小林 唯 (北海道大・理)、Samuel Kahng (Hawaii Pacific univ.)、渡邊 剛 (喜界島サンゴ礁科学研究所、北海道大・院理)
-----------	--	--

サンゴ礁保全活動ポスター発表/ Poster presentations by Reef Conservation groups		
番号 No.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P-Conse1	竹ヶ島海域公園におけるエダミドリイシ <i>Acropora pruinosa</i> の保全啓蒙活動について	○藤田 奈都季、池浦 智史、岡田 直也 (ニタコンサルタント株式会社)、奥村 正俊 (海洋自然博物館マリンジャム)、目崎 拓真 (公益財団法人黒潮生物研究所)
P-Conse2	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の活動紹介	○宮崎 悠 (沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、一般社団法人キュリオス沖縄)
P-Conse3	発表キャンセル	
P-Conse4	海洋リテラシー醸成のための教育プログラム開発と実践、指導者育成の取り組み	○今宮 則子、都築 章子、森 有紀子 ((特非) 海の自然史研究所)
P-Conse5	発表キャンセル	
P-Conse6	Neuropeptide GLWamide is involved in the polyp contraction in adult stony corals	○Shinya Shikina (NTOU IMEE)、Yi-Chen Yao (NTOU AQUA)、Tai-Yu Liu (NTOU AQUA)、Céline Zatylny-Gaudin (CAEN univ)、Ching-Fong Chang (NTOU AQUA)
P-Conse7	沖縄島でのジュゴンの喰み跡モニタリング調査	○小澤 宏之、三部 碧、佐川 鉄平、嘉陽 雅美 (一般財団法人沖縄県環境科学センター)、古仲 信昭 (一般財団法人自然公園財団)
P-Conse8	「2018年元気なサンゴたち再び！」情報発信プロジェクト	○青井 秀樹 (マリンサービス やーるーや)、飯田 悦史 (アクアカラズ)、井腰 幸夫 (GOODDIVE グッドダイブ)、佐々木 千穂 (Relax Dive BANANA)、鈴木 倫太郎 (WWF ジャパン)、鈴木 智子 (きら星ツアー)、寺本 晃洋 (Diving Service SUNNY SUNNY)、千綿 甲一郎 (プライム・スクーバ石垣)、平尾 一也 (DIVERSNET)、大堀 健司 (エコツアーふくみみ)、森 敬太 (ダイビングセンター MOSSDIVERS)
P-Conse9	沖縄県サンゴ礁保全再生地域モデル事業の紹介	○長田 智史 (沖環科)、津波 昭史 (沖縄県・自然保護課)、中村 良太 (水産土木)、當山 真由美 (都市科学)、金城 賢 (沖縄県・自然保護課)
P-Conse10	石西礁湖周辺海域から石西礁湖内部へのサンゴ卵輸送の研究	○武田 尚弥、鹿島 基彦 (神戸学院大・人文)、小谷 瑛千花、内山 雄介 (神戸大・工)